

「こ、こんにちわ〜♥
はじめまして、キングオブ
デリバリーズのマイよ♥」

「え…マイってもしかして
あの不知火舞？」

「あええと…それは…」

（不知火舞がデリヘルなんかで
働いてるわけ…でもこの
デカパイはそうとしか思えない…）

「（じーっ）やっぱり本人でしょ？」

「え…ええ。格闘大会がないときは
こういうお仕事もしてるの…賞金も
いつももらえるわけじゃないし…」

「へえ…そうなんだ、
格闘家も大変だねえ。
…ねえ、前掛けめくって見せてよ」



「え……?」「じ……?」「ん……?」

「おおおっ!」
「へええ……なるほどオ……!♡」

「う……?」
「う……?」
「何が……?」

「……あの、そろそろ中に
お邪魔してもいいかしら?」

「……ねえ、本番ありで中出し
オプショソも付けてくれない?」

「えッ……!?」
「ダメよ、そんな……」

「お願い、料金倍払うから!」

「……ほんと?ううん……あの……
お店にナイショにしてくれるなら……!」

「もちろん!それじゃ
いいんだね?ゴムなしセックス」

「……分かったわ……♡」



「パンっーパンっーパンっー！」

「ああっ…キツキツで最高のオ○ンコだよ♡やっぱり格闘技やっつてるだけあるねえ」

「ひんんっ…♡♡♡ま、待っててエ…♡♡♡お願い、ちよつと休ませてエエ…♡♡♡」

パンッ

パンッ

アイッ♡

「ダメダメっ時間いっぱいまでやらせてもらおうから」

「そんな…」

ンひ♡お♡お♡うンッ♡♡♡

「この人なんてタフなの…一体どれだけ中に出すつもりなのよっ…」

「こんな立て続けにされたらこっちが先に参っちゃうよっ…」

「ああ、イクッ…♡精液出るよ、マイちゃんドスケベくノーマンごで全部受け止めてねっ」

「え…ま、待って今出されたら…」

「エエっー」

アイン♡

ドク♡

ドク♡

おッ♡

また…♡

おおん♡

イクっ♡





